



人材派遣のそこから

Potential Energy Of Manpower Dispatching

2021年10月吉日

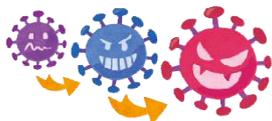
(株)コメット社内報

第41号

文責：長谷川



次々出てくる変異体ウイルス 対策はやはり「マスク」「手洗い」「ディスタンス」



この社内報を書いている9月末現在、滋賀を含む19都道府県に緊急事態宣言が発出中です。ワクチンの接種率向上と緊急事態宣言の効果なのか、第5波は収束しつつあります。

しかしながらウイルスは変異を繰り返し、重症化は防げるとはいえ、ワクチン接種者への感染報告も聞かれます。冬場には感染のリスクが拡大するとの予想もされているので、

今まで以上にマスク着用をはじめとした感染予防対策を怠らないようにしないといけませんね。

さて今回の社内報では、お使いの方も多いかと思えます「お薬手帳」を特集しました。知っていそうで知らない「お薬手帳」のメリットや賢い使い方を暮らしに活かして頂ければ幸いです。

便利で大切なお薬手帳を、上手に活用しましょう！



「お薬手帳」は医療機関にかかった時に、処方された薬の情報を記入する手帳のことです。持病のある人にとっては薬管理には欠かせないツールである一方、あまり病気をしない人にとっては、あまり必要を感じない物であるかもしれませんが、活用の仕方によっては、薬の管理だけでなくさまざまなメリットがあります。

【お薬手帳とは？】

「いつ」「どこ」の医療機関で「どのような」薬が処方され、「どれくらい」の期間服用したのかを記録するもの。他にもアレルギーや副作用、既往症の履歴も記載できるようになっています。

【「お薬手帳」のメリット】

- ①安くなる…金額は少額ですが、お薬手帳を薬局に持参することで自己負担金額が安くなります。長い期間お薬をもらう場合には差が出ます。
- ②安心安全な薬の服用…薬剤師が薬の組み合わせを確認するので、薬が有害なものになる事故を防げます。また、過去のアレルギーや副作用歴が分かるので、安心安全な薬の服用ができます。
- ③情報伝達がスムーズ…いつもと違う医療機関で受診する場合、医師が服用している薬を正確に把握することで、一緒に服用しても問題のない薬を処方してもらえます。
- ④災害時もすぐ対応…東日本大震災の時には、津波によって多くの病院や薬局が被災し、多くの人が薬をもらえなくなっていました。このような大きな災害時に、お薬手帳を元にお薬が用意され届けことができます。



【「お薬手帳」が必要な人】



子ども…お子さんが小さい時は、夜間に急な発熱などで救急診療に受診される事も多いはず。お薬手帳があると様々な情報を確認する事ができるので迅速に対応ができます。また食物アレルギーがある場合は、アレルギー歴を記載しておくともよいでしょう。

持病がある人…生活習慣病や慢性的な病気になると長期的、あるいは生涯に渡ってお薬を服用することもあります。年齢に伴いお薬の種類や受診する医療機関が増えてくることもあります。服用する薬が増えると、その分飲み合わせが合わないリスクも増えます。急な腹痛や風邪の時に飲んでいるお薬をすぐに確認できます。

【若くて持病のない人のメリット】

お薬手帳に過去のアレルギー歴、副作用歴を記載していると、急に医療機関を受診した時だけでなく、ドラッグストアで市販薬やサプリメントを購入する場合にもリスクを減らす事ができます。サプリメントの中にも食物アレルギーを引き起こす可能性がある食物を原料としたものもあり、注意が必要です。



【いつも同じ薬でも意味がある】

定期的にお薬をもらっている方の中には、お薬手帳のシールを毎回貼ることに疑問を持たれる方もいます。しかし毎回シールを貼る事で現在も服用しているのかどうかを確認できると、どれくらいの期間どのような薬を飲んでいたので、治療の方針が変わることもあるのです。健康で若い人であっても市販薬で風邪薬を買ったり、サプリメントを使ってみたり、薬を使用する機会は結構あるものです。お薬手帳を活用する事で、お薬をより安全に使用できるようになります。また手帳を家に何冊も保管されてませんか？お薬手帳は1冊にまとめた方が、重複投与や飲み合わせなどを確認しなくて済むので効率的です。スマートフォンを使っている方には、お薬手帳アプリもあります。QRコードで薬の情報を得られるほか、処方箋の画像を薬局に送信して待ち時間を短縮したり、家族全員の情報管理したりすることも可能です。



編集後記

10月は神無月(かなづき/かみなしづき)と言われます。神々が出雲の国に行ってしまう留守になるという意の「神なき月」が転訛して「神無月」。神々が集まる出雲の国では「神在月(かみありつき)」といいます。10月は全国の八百万の神様が、一部の留守神様を残して出雲大社(島根県出雲市)へ会議に出かけてしまうと考えられてきました。その為、神様が出かけってしまう国では神様がいないので「神無月」、反対に出雲の国(島根県)では神様がたくさんいらっしゃるの「神在月」というわけです。また、「神無月」の無を「の」と解して「神の月」とする説もありますが、「神無月」も「神在月」も、神々が集う大切な月という意味です。

